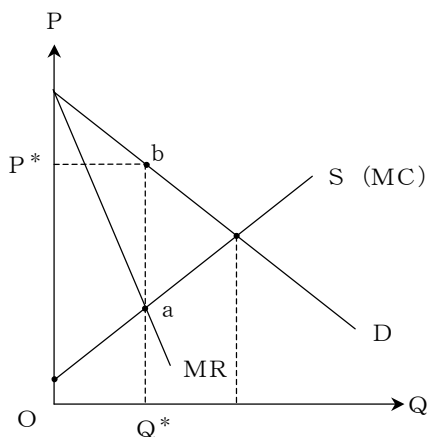


【問 題】

独占企業の生産量と価格の決定について、図を用いて説明せよ。

【解答例】

供給独占市場においては、同じ財を生産する企業が存在せず、同じ財を消費する消費者が多数存在する。したがって、個々の消費者は市場価格に対する支配力をもたないが、独占企業の生産数量は市場全体の生産数量に一致するため、独占企業は市場価格支配力をもつ。よって、独占企業が自社製品の生産量を減少させるとその財の希少性を高められるため、自社製品の価格を上昇させることができる。同様に、自社製品の生産量を増加させるとその財の希少性が低下するため、自社製品の価格が下落することとなる。すなわち、独占市場では、独占企業はプライス・メイカーとして行動でき、利潤を最大化するように生産量と価格を決定する。



以上より、独占企業が直面している自社製品に対する需要曲線は、市場全体の需要曲線と一致し、縦軸に価格をとり、横軸に数量をとったときに、図のように右下がりの曲線Dとなる。ここで、限界収入MRとは、生産量を1単位増加したときに総収入がどれだけ変化するのかを表す。生産量を1単位増産すると、右下がりの市場需要曲線に対応して、価格が下落する。このときの限界収入MRは、下落後の価格に増産した1単位をかけた金額に等しくなる。生産量が増加していくほど下落後の価格はより低くなり、より低くなった価格に増産した1単位をかけた金額も減少していく。よって、独占企業の限界収入MRは生産量の増加とともに減少し、需要曲線が直線で表される場合には、限界収入曲線の傾きの大きさは需要曲線の傾きの大きさ2倍となり、急勾配の右下がりの直線となる。他方、限界費用MCは、生産量を1単位増加したときに総費用がどれだけ変化するのかを表す。独占企業は、生産量の増加とともに減少する限界収入MRと限界費用MCが等しくなるa点で均衡生産量 Q^* を決定し、均衡生産量に対応する市場需要曲線上の点bの高さで独占価格 P^* を決定する。よって、独占企業の利潤最大化条件は、限界収入MRと限界費用MCの均等化となる。

以 上